

令和3年度事業計画書

特定非営利活動法人秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会

1 事業実施の方針

本県におけるグリーン・ツーリズムの発展に向けて、秋田県及び市町村自治体と連携しながら、その担い手の育成支援や環境整備などの諸活動を推進する。新型コロナウイルス感染防止対策を図りながら、訪問者と農山漁村地域との交流の場づくりを継続し、暮らしの変化に対応した持続可能な交流のあり方について提言していく。また、正会員と賛助会員のつながりを深め、グリーン・ツーリズム活動の推進を図るため、イベント等で一緒に活動してもらおうサポートスタッフを募集し、必要な時に協力を呼び掛ける仕組みを構築する。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施予定日時 (B)当該事業の実施予定場所 (C)従事者の予定人数	(D)受益対象者の範囲 (E)予定人数	事業費の予算額 (単位：円)
グリーン・ツーリズム活動を通じた農山漁村地域の活性化に資する事業	①グリーン・ツーリズム花まるっ大学の開催を通じたグリーン・ツーリズムの指導・普及	(A)グリーン・ツーリズムサロン：年4回(6、8、10、12月)、個別指導：随時 (B)県内4ヶ所 (C)6人	(D)一般県民 (E)50人	1,000,000
	②グリーン・ツーリズム体験講座(ここから秋田)の開催とサークル活動への支援	(A)月1回(7月～翌年3月) (B)全県域 (C)10人	(D)関心のある県民 (E)50人	50,000
	③ホームページ・SNSによる情報発信の強化	(A)通年 (B)インターネット上 (C)2人	(D)一般県民 (E)不特定多数	250,000
	④新しい地域の事業承継プロジェクト	(A)年4回(4～9月) (B)全県域 (C)3人	(D)関心のある県民 (E)20人	798,000
	⑤農村での交流拡大ブラッシュアップ事業	(A)5月～9月 (B)県内3ヶ所 (C)5人	(D)一般県民 (E)不特定多数	759,000
	⑥地域の魅力発信力強化事業(農村誘客キャンペーン)	(A)2企画×2回(計4回) (B)県内2ヶ所 (C)5人	(D)一般県民 (E)40人	897,000
	⑦「里地里山50」情報発信事業	(A)5月～2月 (B)全県域 (C)4人	(D)一般県民 (E)不特定多数	720,000
アグリビジネス起業支援に関する事	①教育旅行への受入対応	(A)通年 (B)全県域 (C)2人	(D)関心のある県民 (E)不特定多数	80,000

業	②ウェルカム秋田！農泊ビジネス起業応援事業(農泊ビジネス起業実践研修)	(A)年2回 (B)全県域 (C)3人	(D)移住希望者 (E)5人	2,916,000
会員間の相互交流に関する事業	①実践者連絡会議(北東北グリーン・ツーリズムネットワーク情報交換・交流会)への参加	(A)1回(11月下旬～12月上旬) (B)青森県 (C)3人	(D)希望する会員 (E)10人	80,000
助言・政策提言に関する事業	①関連事業への助言・提案	(A)通年 (B)県内 (C)3人	(D)一般県民 (E)不特定多数	5,000
その他目的を達成するための事業	①あきた発酵カレッジ	(A)年6回 (B)全県域 (C)3人	(D)一般県民 (E)不特定多数	2,779,000
	②あきた産デーフェアの開催	(A)年6回(6月～10月) (B)秋田駅前アゴラ広場前「仲小路大屋根下」 (C)3人	(D)一般県民 (E)不特定多数	800,000
	③賛助会員への入会特典と活動支援の依頼	(A)通年 (B)全県域 (C)3人	(D)一般県民 (E)55人	240,000
事業費の予算額合計				11,374,000

【事業内容の説明】

<グリーン・ツーリズム活動を通じた農山漁村地域の活性化に資する事業>

①グリーン・ツーリズム花まるっ大学を通じたグリーン・ツーリズムの指導・普及

- ・グリーン・ツーリズムサロン：気軽に話をする・聞く・相談できる場を、定期開催する。

開催時期：6月、8月、10月、12月の第3水曜日（予定：6/16、8/18、10/20、12/15）

開催場所：遊学舎のほか、会員施設を利用する。

新規入会者は、1回以上受講してもらう。

2～3月に1回、まとめの全体講義を行う。

- ・個別指導：随時
- ・会報の発行

②グリーン・ツーリズム体験講座（ここから秋田）の開設

- ・「ここから秋田」の定期開催

月1回程度、会員自らの企画・主催による体験講座を継続して実施する。

新規企画を開拓する。

実施にあたり、下記のとおり手数料を設定する。

手数料：参加費の10%・・・企画への助言・チラシ作成とDM発行・参加者取りまとめ・傷害保険の適用

参加費の5%・・・チラシ作成とDM発行・傷害保険の適用

定番化した企画は、随時サークル化し、活動支援を行う。

③ホームページ・SNSによる情報発信の強化

- ・レンタルサーバーの設置。

ホームページ「美の国秋田・桃源郷をゆく」の管理・運営

各施設ごとの新型コロナウイルス感染症対応に関する衛生管理情報を適宜更新する。

各施設紹介ページの写真の補充等、充実を図る。

- ・SNSの運用

ツイッター、フェイスブック・インスタグラムで情報発信を行う。

ツイッター：@akita_gt

フェイスブック：秋田花まるっG・T推進協議会

インスタグラム：akita_gt

・通信販売サイトの強化

④新しい地域の事業承継プロジェクト ※トヨタ財団2020年度国内助成プログラム「しらべる助成」

農家民宿・農家レストラン経営を、意欲のある若者達の手によって仕事として継承し、先輩女性農家が教授役を担うことで地域とつながり、若者と地域をつなぐハブ役として「生涯現役」も達成できる、地域にとって双方よしの「事業承継」の可能性を探る。

- ・事業承継意向調査結果による個別調査
- ・「残したい農村の暮らしの技」調査の補充と技術の実演動画の撮影
- ・事業承継参画ワークショップの実施
- ・事業承継に向けた許認可調査

⑤農村での交流拡大ブラッシュアップ事業 ※秋田県受託事業

専門家（料理人等）派遣による飲食メニュー（春・夏）の開発（3地区）を行う。

⑥地域の魅力発信力強化事業（農村誘客キャンペーン） ※秋田県受託事業

新型コロナウイルス感染防止対策を意識した農村を巡るバスツアーを企画し実施する。

- ・2企画×2回実施（計4回）
- ・着地型、少人数（1回あたり10名程度）で催行する。

⑦「里地里山50」情報発信事業 ※秋田県受託事業

本県の里地里山の優れた景観や地域資源を生かした交流活動の実施状況などを取材し、HP等で情報発信する。

- ・内容：「情報発信推進員」（3名）の選定及び連絡調整、取材内容の英訳とホームページへの掲載 他

<アグリビジネス起業支援に関する事業>

①教育旅行への受入対応

安全講習の実施：各地域協議会単位で開催してもらうことを基本とし、未受講をなくすために、受講を呼びかける。協議会は、秋田県と連携し、受講内容の確認をし、質の向上を目指す。

②ウェルカム秋田！農泊ビジネス起業応援事業 ※秋田県受託事業

1) 農泊ビジネス起業実践研修

農泊ビジネスに興味のある本県への移住希望者にグリーン・ツーリズム体験研修及び起業プランの策定等、起業・経営に係る知識を習得してもらう。

対象者：本県で農泊ビジネスでの起業を希望する移住希望者（農家民宿、農家レストラン 計5名）

研修先：県内の農家民宿、農家レストラン等

内容：起業プランの策定ワークショップ、農泊ビジネスの起業・経営・資格・許可関連等についての基礎講義、既移住者とのネットワーク構築等

回数：2泊3日 農家民宿、農家レストラン各1回 計2回

<会員間の相互交流に関する事業>

①「北東北グリーン・ツーリズムネットワーク情報交換・交流会」への参加

- ・開催地：青森県

<助言・提言に関する事業>

①各種会合への出席

<その他、目的を達成するための事業>

①あきた発酵カレッジ

本県の豊かな発酵食文化の知識を普及するとともに、その調理方法を学ぶことを通じて、発酵食文化を伝承し、及び情報発信する人材を育成する。

・開催回数：STEP1（YouTubeによるライブ配信）、STEP2（同内容を2回）、STEP3（同内容を2回）、あきた発酵伝導士向けフォロー研修（1回）計6回

②あきた産デーフェアの開催（あきた産デーフェア出展者協議会との共同事業）

秋田駅前アゴラ広場前「仲小路大屋根下」で開催されている「あきた産デーフェア」（主催：あきた産デーフェア出展者協議会（会長：熊谷良一（株）くまがい卵油研究所）・会員数19団体、共催：秋田県（担当：農林水産部農業経済課）の運営支援業務を地産地消を進める会より引き継ぎ、運営支援する。

開催日：6月19日（土）、7月17日（土）、9月18日（土）、10月2日（土）～3日（日）、10月16日（土） 計6日間

開催場所：秋田駅前アゴラ広場前「仲小路大屋根下」

業務内容：【県】「あきた産デーフェア」の円滑な開催、当日の見守り

【あきた産デーフェア出展者協議会】

・年会費（10,000円）、出展料（1回2,150円）の徴収と会計、開催に向けた事務手続き（出展の確認、道路等許可手続き、場所決め等）、総会の開催

※NPO法人秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会会員で、2名以上、出展を希望する会員がいた場合は、あきた産デーフェア出展者協議会へ本協議会として加入することを検討する（その場合、出展料は出展を希望する会員の負担とする。）。

③賛助会員への入会特典と活動支援の依頼

入会特典のグッズ（エコバック等）を作成し、新規入会促進を図る。また、主催事業や協力事業のイベントで、サポートスタッフとしてお手伝いいただける方を募集し、協力していただける方を登録し、必要なイベントの際に協力を呼び掛ける仕組みを構築する。